

安全データシート

改訂日:2025年4月3日

1. 製品及び会社情報

製品名
推奨用途
会社名
住所
電話番号

砂鉄
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
DD0102

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性
健康有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル

発がん性:区分1A
特定標的臓器(反復ばく露):区分2(呼吸器系/免疫系/腎臓/肺)



注意喚起語
危険有害性情報

危険
発がんのおそれ
長期にわたる,又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(呼吸器系/免疫系/腎臓/肺)
【安全対策】
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
【応急措置】
ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは,医師の診察/手当てを受けること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

注意書き

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
別名
化学式又は構造式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)

混合物
砂鉄
—
Fe(鉄として)
CAS RN:7439-89-6
Feとして56~58%(他の成分は酸化チタン、二酸化けい素等の混合物)
対象外

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状
応急処置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

口をすすぎ鼻をかませる。新鮮な空気のところに移動させる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。
汚染された衣服を脱がせる。多量の水がシャワーで皮膚を洗い流す。皮膚への刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。
数分間多量の水で洗い流し(できればコンタクトレンズを外して)、医師の診断/手当てを受ける。
口をすすぐ。多量の水を飲ませて吐かせる。気分が悪い時は医師の診断/手当てを受ける。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法

乾燥砂、泡末消火剤
製品の粉末を飛散させないように粉末消火剤の使用は避ける。
粉末の飛散により火災が拡大するおそれがある。
容器を他の場所に移動させる。移動できない場合は容器周辺に注水して冷却する。
大量の場合、水噴霧により冷却する。
消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項,保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
こぼれた物質を容器内に掃き入れる。
残留分を多量の水で洗い流す。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化方法・機材

二次災害の防止策	放電火花を発生しない道具を用いる。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気・全体換気)	漏れ、あふれ、飛散しないようにする。
安全取扱い注意事項	粉じんを吸入しないこと。
	眼、皮膚、衣類に付けないこと。
	作業中は飲食／喫煙をしない。
	酸
接触回避	取扱い後はよく手を洗うこと。
衛生対策	
保管	
適切な保管条件	高温多湿を避け(40℃以下)、風通しのよい場所で密封して保管する。
容器包装材料	ガラス
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度等	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
濃度基準値	8時間: 未設定
	短時間: 未設定
設備対策	取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
眼の保護具	ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	作業着を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	粉末
色	暗灰色
臭い	無臭
融点/凝固点	1535℃ (鉄)
沸点又は初留点及び沸点範囲	2861℃ (鉄)
可燃性	該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火点	該当情報なし。
分解温度	該当情報なし。
pH	該当情報なし。
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	不溶
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	7.86g/cm ³ (鉄)
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常取り扱いにて安定である。
危険有害反応可能性	酸との接触により爆発性のある水素ガスを発生する。
	湿気により酸化し赤熱することがある。
避けるべき条件	高温、湿気(水分)、混触禁止物質との接触
混触危険物質	酸、塩素酸ナトリウム、過酸化水素
危険有害な分解生成物	該当情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	混合物としての分類はなく、既知の成分(不純物)から予測される有害性から分類を行った。 経口: 既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない) 経皮: 既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない) 吸入: 既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない)
皮膚腐食性・刺激性	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	区分2の成分(二酸化けい素)は10%未満であり、また他の既知の成分は分類に該当しない。(分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、本製品は分類できない。(分類できない)
生殖細胞変異原性	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、本製品は分類できない。(分類できない)
発がん性	区分1Aの成分(二酸化けい素)0.1%以上、区分2の成分(酸化チタン)を1.0%以上含有する為、本製品は区分1Aとした。(区分1A)
生殖毒性	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない)

特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	区分1(呼吸器系、免疫系、腎臓、及び肺)の成分(それぞれ二酸化けい素、酸化アルミニウム)は1.0~10%含有すると考えられる為、本製品は区分2(呼吸器系、腎臓、肺)とした。(区分2(呼吸器系、免疫系、腎臓、肺))
誤えん有害性	既知の各成分は分類に該当しない。または不明の為、分類できない。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性): 該当情報なし。 長期(慢性): 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	2793
品名(国連輸送名)	FERROUS METAL BORINGS, SHAVINGS, TURNINGS or CUTTINGS in a form liable to self-heating
国連分類	4.2
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。
応急措置指針番号	170
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[酸化チタン(IV)、シリカ] がん原性物質[シリカ (結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素)] 毒物及び劇物に該当しない。
毒物及び劇物取締法	危険物に該当しない。
消防法	
16. その他の情報	
引用文献	NITE-CHRIIP(製品評価技術基盤機構HP) 職場の安全サイト(厚労省HP)(酸化チタン、二酸化けい素、酸化アルミニウムSDS) 記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。